

**行政経営の  
基本方針**

新しく町を「経営」していくために必要な経営方針として、今後4年間の基本指針と、限られた資源の配分に対する価値基準を重点戦略として位置付けます。

**経営の基本指針**

極めて厳しい財政状況を踏まえ、必要な事業の選択について、明確な根拠を持って説明責任を果たします。また、中長期的に安定した行政基盤を構築していくために、地域資源の有効活用や行政活動の民間開放の推進など、より一層の効果及び効率性を追求し、創意工夫と独自性をもって、地域の活性化施策を実行していきます。

行政の活動効率を向上させるだけでなく、民間力《町民/NPO/企業など》の発揮と人間力《技術/技能/ノウハウ/知識など》の活用等、潜在的な地域力を発掘し、相乗効果による公共サービスの水準向上につなげていきます。

心豊かな生活をおくるための基礎である「健康」について、保健・医療というこれまでの枠に捉われず、日常的な生活・環境・地域社会といった幅広い分野が連携・協力した、健康づくりへの新たな取り組みを行います。

**重点戦略**

**健康づくり**

（健康でいきいき・のびのび暮らせる地域社会の構築）

**次世代の育成**

（子どもたちの健全な成長を社会全体で見守る環境づくり）

**産業・観光の活性化**

（地域の資源をいかしたまちづくり）

**新たな公共づくり**

（民、公パートナーシップによるまちづくり）

**環境の保護**

（資源循環型の環境づくり）

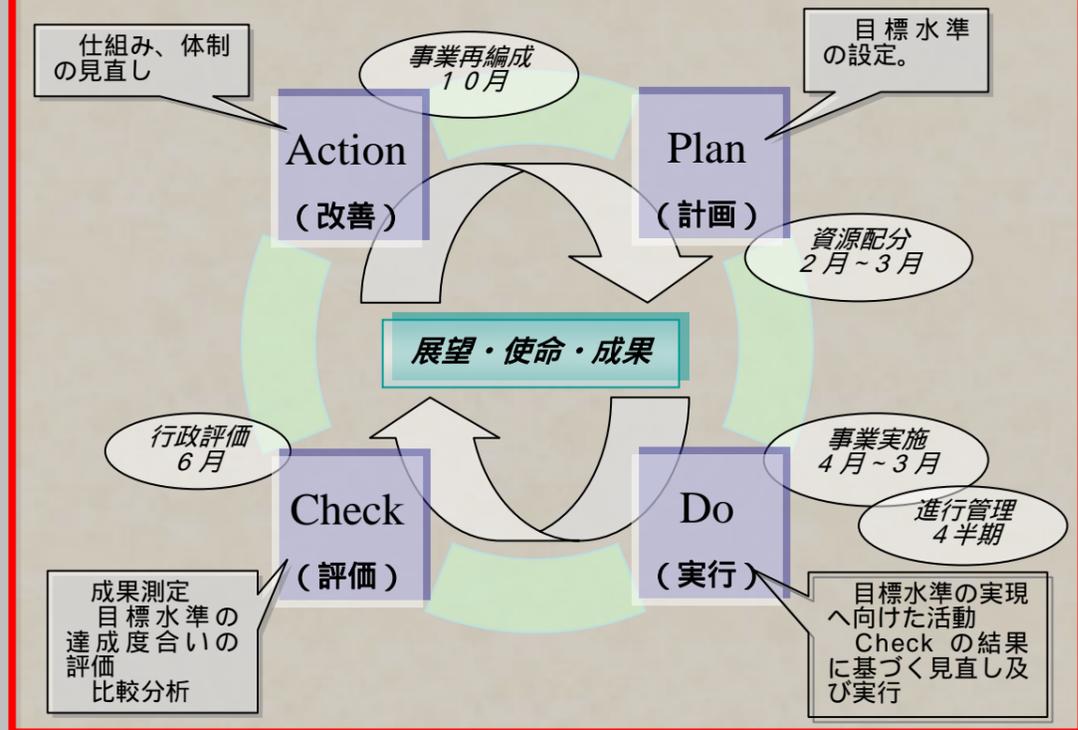
**防災体制の強化**

（災害に強いまちづくり）

**計画の運用**

計画の推進段階においては、施策や事務事業については「行政評価」を利用して1年毎に測定・評価し、その結果に基づいて適切な改善（改革）活動を行うとともに、資源配分や事業編成に効果的に反映させていきます。

**マネジメント・サイクル : P [Plan]-D [Do]-C [Check]-A [Action]**



**栄町後期基本計画 平成19~22年度 (ダイジェスト版)**

「安全で安心な活力ある共生社会」を目指して

~四季の恵み・憩いの水辺 いきいき、のびのびさかえまち~

**計画策定にあたって**

今日の本町は、少子高齢化による人口減少や、かつて経験したことのない危機的な財政状況など、社会経済情勢の変化による経営資源の制約に直面しており、誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けていける社会の構築に向けて大きな転換期を迎えています。このような状況の中、今回策定の計画は、栄町基本構想に基づいたステップ1の後期計画であると同時に、行政・住民・コミュニティ組織・事業者などのさまざまな主体が、それぞれの立場で連携した「新しい公共」を担う分権型社会の形成を目指して策定いたしました。また、「町民志向」「成果志向」といった民間企業の経営理念を本格的に取り入れ、心豊かな生活を送るための基礎である「健康」に重点を置き、従来型の仕事全てを横並びに記載した計画ではなく、目的・成果・役割などを明確にした「使える」計画として本年3月に策定したものであります。

このダイジェスト版は、計画の内容を部分的に抜粋したもので、町の将来と今後の「経営」について、より一層のご理解をお願いしたく今回作成したものでございます。

今後は、この計画を行動指針として、平成22年度の町の姿として位置付けた「安全で安心な活力ある共生社会」の実現を目指し、町民の皆様との協働により、誰もが健康で希望と喜びをもって暮らすことのできる、魅力ある栄町を築いてまいります。

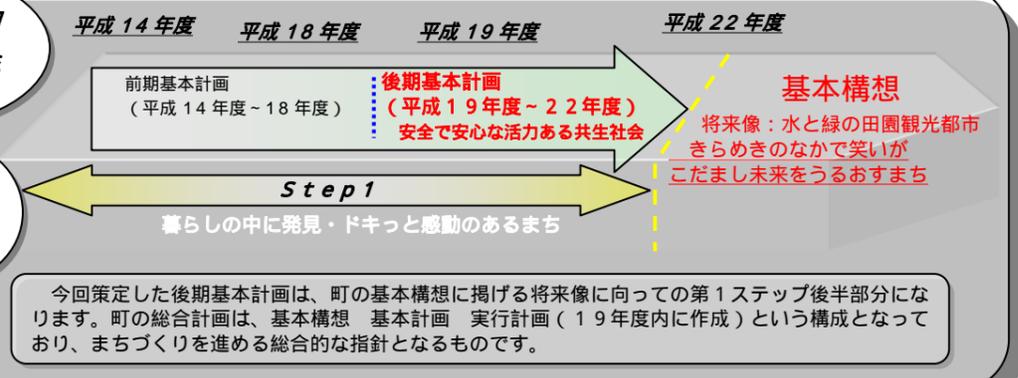
おわりに、貴重なご意見をいただきました町民の皆様及び関係各位に対して厚くお礼申し上げますとともに、後期基本計画の実現に向けた更なるご支援をお願いいたします。

平成19年9月 栄町長 川崎吉則

**総合計画と後期  
基本計画の関係**



**栄町  
総合計画**



**時代潮流と  
町の将来像**

現在の社会動向等を踏まえ、平成22年度における町の姿を「安全で安心な活力ある共生社会」とし、「町政の主役は町民」であることを基本に町を「経営」していきます。

**町を取り巻く社会動向**

少子高齢化の影響により、人口は減少傾向となっています。また、町税や地方交付税の経常的歳入の確保も難しくなっており、財政状況は非常に厳しい状態が続きます。三位一体改革等、地方分権化が急速に進んでおり、地方自治体の責任範囲は拡大しています。団塊世代の大量退職(いわゆる2007年問題)が控えています。市町村合併の議論と合わせ、地域社会のあり方自体を議論していく必要があります。行政主導型のまちづくりから、町民が主体となった地域協働・地域主導のまちづくりへの転換が必要です。

**新しい町の経営像**

住民(個人・家庭)・コミュニティ組織・ボランティア団体・NPOなどの民間団体・議会・行政等の様々な主体が、連携しながら相互に地域の価値を高め、それぞれが満足度を高めていく姿を「地域経営」と位置付け、将来像の実現を目指します。目標と使命を明確にした各組織が戦略的に各施策に取り組む姿を「行政経営」と位置付け、行政全体の使命である【町民にとって「ベスト」な公共サービスの提供】を実現します。

発行 千葉県印旛郡栄町  
編集 栄町総務政策課  
〒270-1592 千葉県印旛郡栄町安食台1丁目2番地  
電話 0476-95-1111 FAX 0476-95-4274  
URL http://www.town.sakae.chiba.jp/  
E-mail soumu@town.sakae.chiba.jp

# 分野別戦略計画

## 地域協働行政経営

## 教育文化

## 産業観光

## 生活基盤

## 生活環境

## 健康福祉

活力ある住民活動が性別や年齢を問わずいたるところで展開され、コミュニティの力で安心して暮らすことのできる地域になっています。成果を重視した行政経営が行われおり、町民から信頼される行政となっています

### 行政の果たす役割

地域に積極的に赴き、課題の収集、情報の発信、パートナーの発掘に努めるとともに、協働事業を創造しコーディネートする窓口の充実や、活動団体に対する支援制度等の仕組みを構築するなど、協働によるまちづくりを推進します。

### 町民に期待する役割

地域のコミュニティ活動やNPO活動によって、環境、福祉、防災、まちづくりなど、地域の身近な課題を解決するため、活動団体、企業、行政が良きパートナーとして協働意識と信頼関係を築き、主体的に地域づくりに参画、実践していくことを期待します。

### 主な施策と目標値

新たなパートナーシップによるまちづくりの推進  
**指標：新たな協働事業の実施数 10事業**  
 住民活動の支援  
**指標：住民活動団体数 60団体**

4年後のイメージ

4年後のイメージ

子どもたちは将来の夢や希望を育み、心豊かでたくましく育っています。町民は学習した成果をまちづくりに活かした生活をしています。

### 行政の果たす役割

町民が生きがいを持ち、健康で活力に満ちた生活を送ることができるよう、時代と共に求められる生涯学習のニーズを的確に把握し、団体の育成や人材の発掘により、町民との協働による事業展開を推進するための環境づくりと調整を行う。

### 町民に期待する役割

生涯学習の真の主役は住民であることを自覚していただき、自ら積極的に活動の企画運営を行い、活動を通して得た知識や行動を活かして、まちづくりを担う人材として活躍するとともに、生きがいのある生活を営むことを期待します。

### 主な施策と目標値

生涯学習環境の充実  
**指標 ふれあいプラザ利用サークル数 65団体 70団体 1,093人 1,200人**

行政だけでなく、地域全体でまちづくりに取り組んでおり、町民一人ひとりが快適・安心・安全な生活をしています。

### 行政の果たす役割

町民が安全で安心して生活するために、生活環境の最低条件であるシビルミニマムを確保することに努めます。なお、効率的な道路・住宅環境の保持、整備を行うには、従来の発想にとらわれない地域住民・各種団体との協働によるまちづくりの仕組みの構築に力を入れます。

### 町民に期待する役割

地域に根ざした住民活動の一環として、道路の落ち葉清掃や公園の除草及び遊具等の管理について、自治会やボランティア団体等の積極的な参加を期待します。地域社会で暮らすうえで、地域住民の意思で定めた住環境の保全に関するルール（地区計画等）の再確認と相互理解を期待します。

### 主な施策と目標値

道路施設等の安全管理の充実  
**指標：町道等の予防・苦情件数 300件 200件**

4年後のイメージ

町民は、環境への負荷の低減を図る必要性を理解しています。これにより、豊かな自然環境や快適な生活環境が保全されています。

### 行政の果たす役割

町民が、防犯や交通安全に対する正しい知識を身につけ、適切な行動を実践できるように啓発・普及活動を行うとともに、地域・関係団体・関係機関と強力な連携体制をとって、それぞれの活動が総合的かつ効果的に行われるよう支援します。

### 町民に期待する役割

犯罪の発生や、交通事故を未然に防止するため、一人ひとりが日常的に抑止意識を持ち続けることを期待します。

### 主な施策と目標値

交通安全対策の推進  
**指標：交通事故発生件数 95件 85件**

4年後のイメージ

町民一人ひとりが、自らの健康づくりを生涯に渡って取り組み、良好なコミュニティが形成され、豊かな生活を送っています。

### 行政の果たす役割

すべての町民に対して、治療や疾病の発症予防、適切な生活習慣に関する正しい知識の普及啓発を行います。また、地域活動の担い手の育成や活動を通じた健康づくりの仕組みの構築など、個人が主体的に健康づくりに取り組むための技術の開発とそれを支援する環境の整備を行い、生涯を通じた健康づくりを支援します。

### 町民に期待する役割

一人ひとりが、「健康とは単に病気や虚弱でないというだけではなく、身体的、精神的、社会的に良好な状態である」とことを理解し、健康はつくるという積極的視点に立って自ら健康を考え、保健事業への積極的な参加や日常生活の中で主体的・自主的に取り組むことが必要です。また、家族や職場、地域社会との良好な関係をもち、グループや地域活動等への積極的な参加を通じて、相互に健康なまちづくりを支援していくことが望まれます。

4年後のイメージ

各産業の生産物が町内で消費され、経済の循環サイクルが円滑に回り、町経済に活気が戻ってきます。

### 行政の果たす役割

「房総のむら」「岩屋古墳」といった特色ある歴史文化資源を活用し、新しい観光地づくりを推進するとともに、まちの魅力を広く発信します。

### 町民に期待する役割

観光客に町に良いイメージを持ってもらえるよう、町全体で「おもてなし」の気持ちを持つことや、各種観光関連団体の強化が望まれます。又、観光ボランティア等への積極的な参加を期待します。

### 主な施策と目標値

観光の推進  
**指標：観光入込み客数 461,000人 500,000人**

### 主な施策と目標値

健康さかえ21の推進  
**指標：生きがい、やりがいを感じるものがある人の割合 54.3% 65.0%**

このダイジェスト版は、本編から部分的に抜粋したものです。本編では、分野別の施策や目標値などについてもっと具体的な記載がされていますので、町HPや役場4階の行政資料室をご利用下さい。なお、目標に掲げる指標は全て平成22年度末をゴールとした数値です。

